

## 外来抗菌薬（蜂窩織炎）

初期治療  
Empiric Therapy

成人の場合

蜂窩織炎

内服薬

第一推奨薬：セファレキシン、セファクロル  
 $\beta$ ラクタムアレルギー時：クリンダマイシン  
治療期間は7-10日間

推奨投与量（ $CCr \geq 50$ ）

- セファレキシン：ケフレックス 250mg 6錠 分3
- セファクロル：ケフラール250mg 6錠 分3
- クリンダマイシン：ダラシンカプセル150mg 6CP 分3

腎障害の場合は次ページ参照

表2. 腎機能に応じた投与量の調整

商品名	規格	用法用量	クレアチニンクリアランス (Ccr)		
			50≦Ccr	10≦Ccr<50	Ccr<10
アモキシシリン\クラブラン酸	250 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	3回	2回	1回
アモキシシリン	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	3回	2回	1回
スルタミシリン	375 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	3回	2回	1回
セファレキシシ	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	4回	4回	2回
セファクロル	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	3回	3回	2回
クラリスロマイシ	200 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	2回	2回	2回
アジスロマイシ	250 mg	1回量	2錠	2錠	2錠
		1日回数	1回	1回	1回
ガレノキサシ	200 mg	1回量	2錠	Ccr<30かつ体重が40kg未満であれば 1回1錠に減量	
		1日回数	1回		
レボフロキサシ	500 mg	1回量	1錠	20≦Ccr<50：初日1錠、2日目以降0.5錠 Ccr<20：初日1錠、2日目スキップ、3日目以降2日おきに0.5錠	
		1日回数	1回		
ホスホマイシ	500 mg	1回量	2錠	2錠	2錠
		1日回数	3回	3回	2回

表1. 抗菌薬の用法用量など一覧（腎機能正常時）

一般名	規格	商品名（後発品）	商品名（先発品）	用法用量	後発品のコスト （円／日）	先発品の コスト （円／日）
アモキシシリン\クラブラン酸	250mg	—	オーグメンチン錠	1回1錠 1日3回	—	137.1
アモキシシリン	250mg	アモキシシリンカプセル	サワシリンカプセル	1回1カプセル 1日3回	32.4	45.9
スルタミシリン	375mg	—	ユナシン錠	1回1錠 1日3回	—	177.0
セファレキシン	250mg	セファレキシンカプセル	ケフレックスカプセル	1回1カプセル 1日4回	126.0	126.0
セファクロル	250mg	セファクロルカプセル	ケフラーカプセル	1回1カプセル 1日3回	164.1	164.1
クラリスロマイシン	200mg	クラリスロマイシン錠	クラリシッド錠	1回1錠 1日2回	38.4	43.2
アジスロマイシン	250mg	アジスロマイシン錠	ジスロマック錠	1回2錠 1日1回	112.6	230.0
ガレノキサシン	200mg	—	ジェニナック錠	1回2錠 1日1回	—	269.0
レボフロキサシン	500mg	レボフロキサシン錠	クラビット錠	1回1錠 1日1回	36.7	91.8
ホスホマイシン	500mg	ホスホマイシンカルシウムカプセル	ホスミン錠	1回2錠 1日3回	—	528.0